

# 都道府県在宅保健師等会に係る 調査結果について （平成29年10月実施）

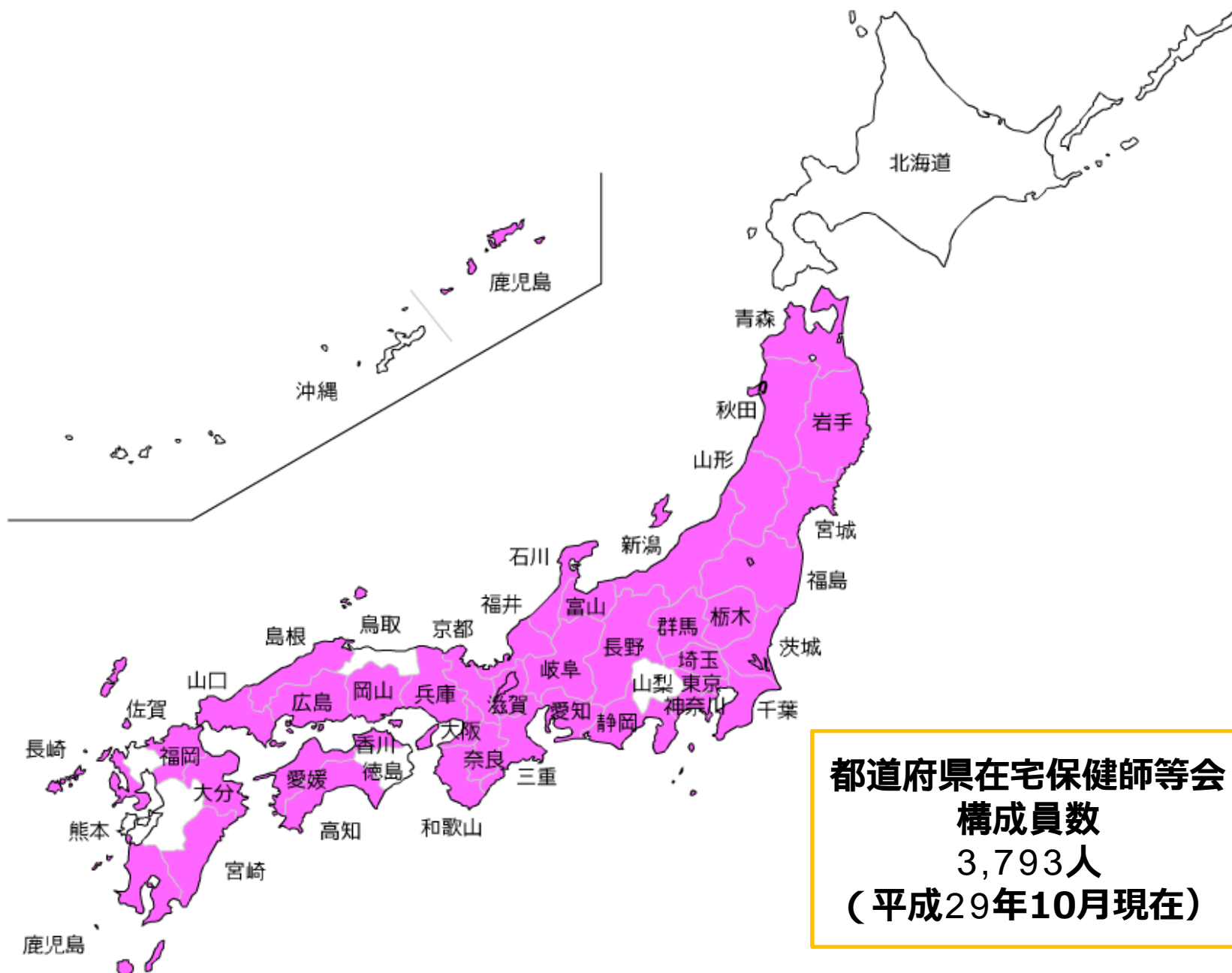
# 1. 在宅保健師等会設置状況

40都府県に設置（平成29年10月現在）

（平成29年度都道府県在宅保健師等会活動調査より）

都道府県	団体名等	設立年月日	会員	都道府県	団体名等	設立年月日	会員
青森県	青森県在宅保健師の会	H10.4.27	189	愛知県	在宅保健師会「あいち」	H10.9.4	146
岩手県	岩手県在宅保健活動者連絡協議会	H16.2.9	58	三重県	三重県在宅保健師の会「ひまわりの会」	H9.11.20	66
宮城県	宮城県在宅保健活動者連絡協議会(けやきの会)	H9.4.1	87	滋賀県	滋賀県在宅保健師の会「湖都の会」	H11.1.7	75
秋田県	秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会	S57.3.16	92	京都府	京都府在宅保健師の会	H17.10.24	84
山形県	山形県在宅保健活動者連絡協議会(いつわ会)	H13.3.9	229	大阪府	大阪府在宅保健師の会	H11.3.8	103
福島県	福島県在宅保健師の会「絆」	H11.4.20	65	兵庫県	兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）	H14.9.3	223
茨城県	茨城県在宅保健師の会	H12.3.21	70	奈良県	奈良県在宅保健師の会（秋篠の会）	H11.9.13	54
栃木県	在宅保健師「つゆくさの会」	H7.2.22	155	和歌山県	和歌山県在宅保健師の会	H11.3.9	72
群馬県	群馬県在宅保健師「さちの会」	H11.10.28	54	島根県	島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」	H13.5.15	141
埼玉県	埼玉県在宅保健活動者の会	H16.1.29	144	岡山県	おかやま在宅保健師等の会「ももの会」	H13.10.30	59
千葉県	千葉県在宅看護職等の会	H10.7.31	127	広島県	広島県在宅保健福祉活動者の会	H16.4.1	237
東京都	東京都在宅保健師の会	H13.5.22	77	山口県	山口県在宅保健師会「鈴の会」	H9.9.17	99
神奈川県	神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」	H12.11.29	90	香川県	香川県在宅保健師会「オリーブの会」	H10.3.25	64
新潟県	新潟県在宅保健師の会「燈々会」	S51.6.20	113	愛媛県	愛媛県在宅保健師会	H15.6.4	32
富山県	富山県在宅保健師らいちょう会	H9.10.29	68	高知県	高知県在宅保健活動者なでしこの会	H11.10.27	91
石川県	石川県在宅保健活動者連絡協議会	H14.3.8	48	福岡県	福岡県在宅保健師若草会	H5.11.15	29
福井県	福井県在宅保健師の会「和の会」	H10.9.1	51	長崎県	長崎県在宅保健事業みつば会	H10.2.19	74
長野県	長野県在宅看護職信濃の会	S58.3.10	154	大分県	大分県在宅保健師等「虹の会」	H3.10.1	60
岐阜県	岐阜県在宅保健師「結の会」	H11.6.1	54	宮崎県	宮崎県在宅保健師ひまわり会	H2.10.13	27
静岡県	静岡県在宅保健師の会「つつじ会」	H5.1.13	44	鹿児島県	鹿児島県在宅保健師・看護師会(よつば会)	H7.9.5	88

# 1. 在宅保健師等会設置状況



## 2. 会員の状況(年齢構成別)

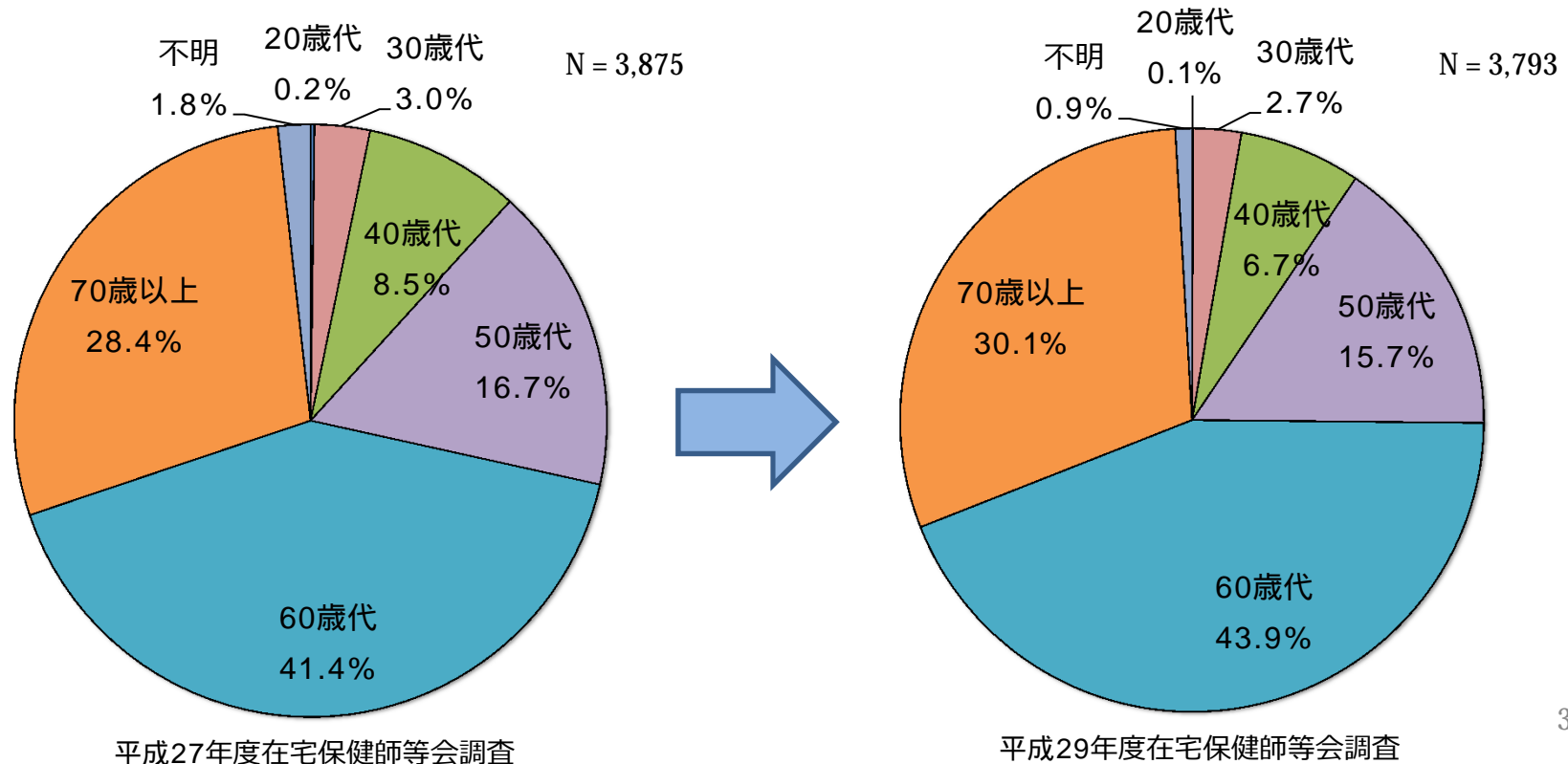
会員数：平成27年度3,875名⇒平成29年度3,793名（ 82名）

1団体あたりの平均人数：94.83名

### 年齢構成別会員数

年齢	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
人数	2	101	256	595	1,664	1,140	35

### 年齢構成別割合

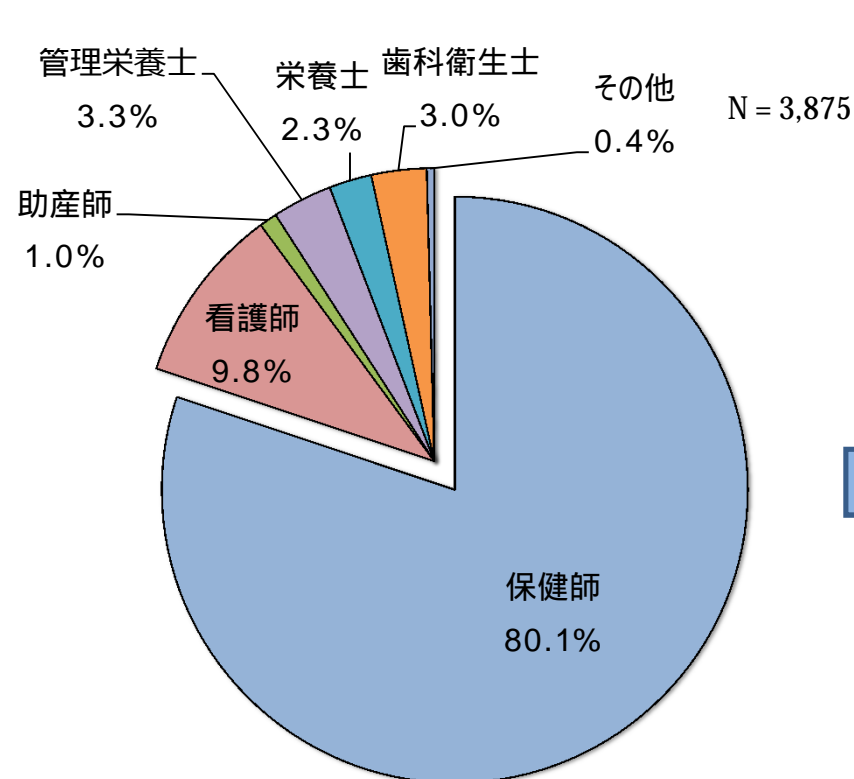


### 3. 会員の状況 (職能別)

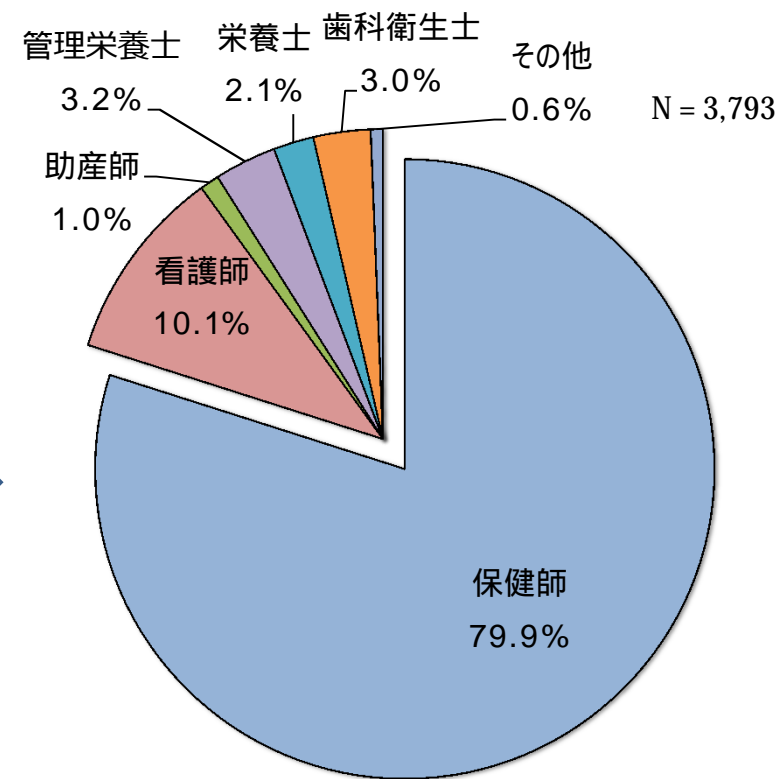
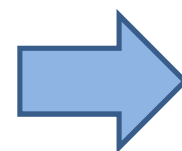
#### 職能別会員数

	保健師	看護師	助産師	管理栄養士	栄養士	歯科衛生士	その他
団体数	40	15	12	10	9	8	8
人数	3,031	384	38	123	80	113	24

#### 職能別割合



平成27年度在宅保健師等会調査

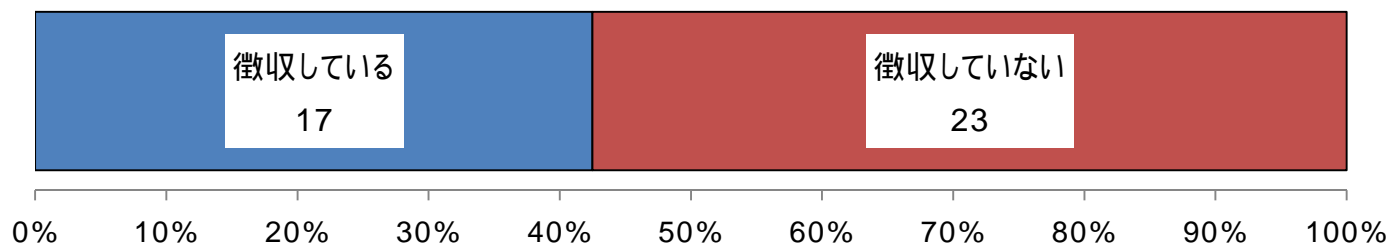


平成29年度在宅保健師等会調査

## 4. 年会費・保険加入状況

### 年会費

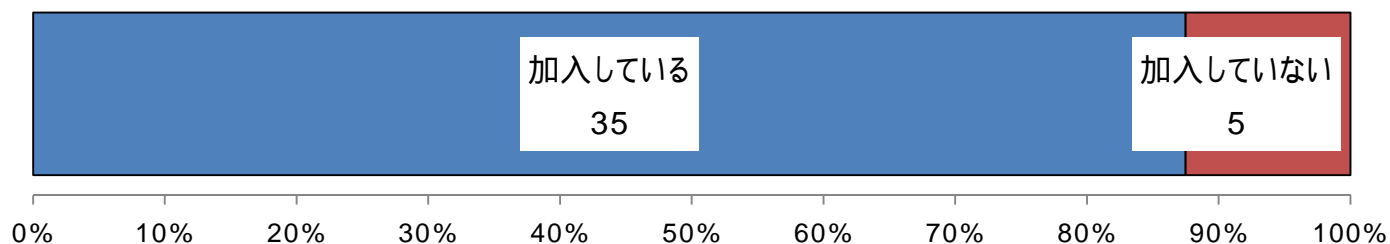
平成27年度調査より、徴収している会が1増加



年会費：500円～4,000円（平均1,556円）

### 保険

平成27年度調査より、加入している会が2増加



加入している保険料の財源

国保連合会：29

国庫補助：2

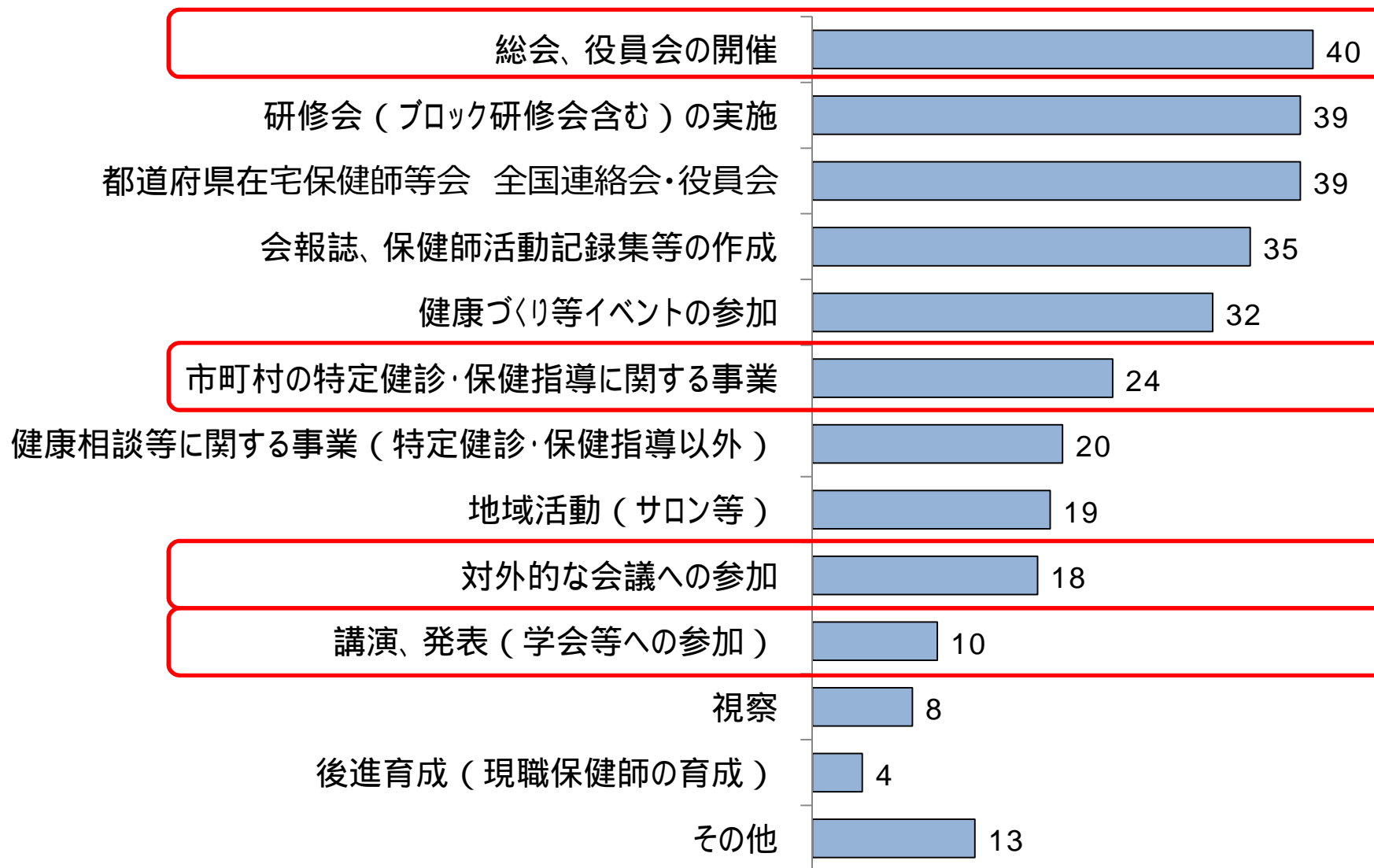
会の自己財源：2

その他：3

複数回答あり

## 5. 平成28年度活動実績

N = 40

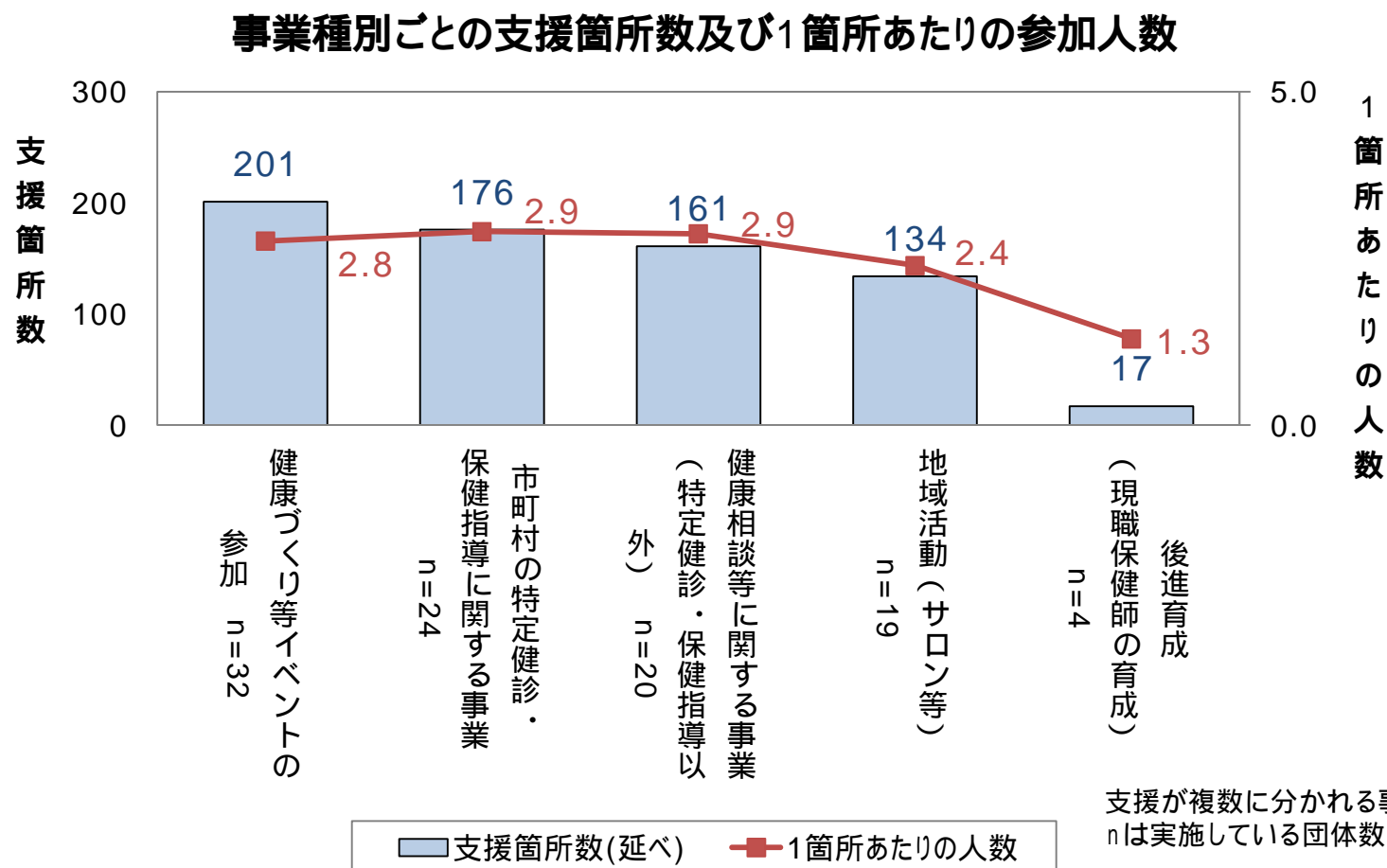


事業種別ごとに実施していれば計上。赤枠は、平成27年度より増加した活動を示す。

## 5. 平成28年度活動実績

支援先が複数に分かれる事業において、事業種別ごとに支援箇所数とそれらに参加している1箇所あたりの人数を示している。

1箇所あたりの人数は3人未満で参加であり、少ない人数で支援を実施していることが分かる。





## 6. 前回調査(平成27年度)以降取組み始めた事業

特定健診受診勧奨事業(長野県、山口県)

糖尿病性腎症重症化予防事業(協働パイロット)(大阪府)

地域づくりアドバイザーの派遣と協力(岩手県事業への協力)(岩手県)

県職員認知症サポーター養成事業への協力(青森県)

紙芝居(長崎県)

保健所及び市町村新任保健師育成支援事業(奈良県)

現役保健師との交流事業(秋田県)

会員拡大推進事業(秋田県)

フレイル予防に関する学習会(大分県)

スタッフジャンパー作成(栃木県)

など

## 7.災害活動について

### 災害協定あり ... 2団体（うち1団体は予定）

- ・**島根県** : 県との協定。災害時における避難者の健康状態の確認及び健康管理の支援等を行う。
- ・**岡山県** : 平成30年度に岡山県と締結予定。

### 支援策あり ... 4団体

- ・**島根県** : 県内災害時、避難生活が概ね2週間以上にわたる場合に行政の支援終了後、行政と連携とり行う。避難所等に入居している避難住民の健康管理（こころと体の健康相談等）。
- ・**岡山県** : 平成24年9月に「災害時ボランティア紹介事業」を立ち上げた。県・市町村（依頼者）からの要請を受けて会員を紹介する。

（災害時保健活動協力者の名簿登録）

- ・**香川県** : 会としての活動ではないが、県より災害時保健活動支援者名簿の登録について協力依頼を受け、協力希望会員を毎年確認し、県に報告している。
- ・**愛媛県** : 「愛媛県災害時保健衛生活動への協力保健師名簿」への登録。

### これまでに支援依頼があった ... 11団体

- ・**青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・富山県・愛知県・京都府** :  
東日本大震災に関わるもの（自県の被災者への支援、他県への派遣、自県に避難してきた被災者への支援など）
- ・**島根県** : 平成25年度、県内豪雨災害時に支援。
- ・**大分県** : 個人ボランティアとして県より支援依頼。

## 8.活動の課題

### 背景となる課題

#### 会員の高齢化と減少... 27団体

- ・会員の高齢化
- ・新規会員の減少
- ・会員の減少
- ・会員数が少ない

#### 活動参加者の減少・固定化... 26団体

- ・活動参加者の減少
- ・会員が就労している
- ・連絡が取れない会員がいる

### 派生する課題

#### 会としての活動について... 8団体

- ・事業の拡大ができない
- ・会としての活動が少ない
- ・会員の自主的な活動が少ない
- ・会の運営が会員主体でない
- ・役員の選出に苦慮
- ・会員のいる地域に偏りがある
- ・県央中心の活動で活動の在り方が難しい
- ・支部によって協力できる事業に差がある

#### 市町村ニーズへの対応... 3団体

- ・市町村のニーズと活動方法のマッチング
- ・市町村のニーズへの対応が困難
- ・保険者の理解

#### その他... 4団体

- ・会の広報活動
- ・会員の力量に差がある
- ・継続的な研修会等を連合会に要望
- ・新しい情報が得にくい

#### 運営財源... 5団体

- ・運営財源の確保
- ・会費の運用方法

## 9.新規会員拡大に向けて取り組んでいること

取り組み	団体数
<b>入会案内を送付</b> (行政等の退職者、保険者、関係機関 など)	19
<b>個人に呼びかけ</b> (会員や保険者に声かけを依頼、支援に行った先で呼びかけ など)	15
<b>会報・チラシを配布</b> (市町村、関係機関、連合会主催イベント、配布先の増加 など)	12
<b>ホームページを活用</b> (募集を掲載、活動紹介の充実、募集チラシのダウンロード など)	8
<b>関係者が集まる場にて周知</b> (保健師連絡会・協議会、保険者支援の会議 など)	6
<b>会員募集を掲載</b> (会報、保険者・関係機関の広報に依頼、新入会員の声を掲載 など)	5
<b>研修会</b> (市町村等を通じ研修会を案内、研修会を見学してもらう、ブロック別研修会に力を入れる など)	4
<b>その他</b> (機会あるごとに会の魅力・メリットをPR、会のスローガンに会員拡大を追加、保険者に出向いてPR、魅力ある活動を検討)	4

## 10.手応えのあった活動

### 特定健診受診勧奨... 14団体

- ・電話勧奨した対象の約30%が受診につながっている。
- ・市町村担当者から、経験豊富な会員の対応が勉強になるとの声をいただいている。
- ・受診勧奨だけでなく、健康相談を丁寧にしていただいた。
- ・市町村から好評で需要が高い。
- ・地域の事態把握ができる。
- ・経験豊富な在宅保健師が市町に出向き、新人保健師等の傍で電話相談を行うと、新人保健師は相談スキルなど習得でき良い機会になっている。

### 地域活動（サロン）... 11団体

- ・参加者の交流の場になり、「楽しみにしている」「出かけることが生きがいた」等の声が聞かれる。
- ・ふれあいサロンに従事することで、地域の活性化につながっている。
- ・経験と実績を活かし、生活習慣病予防をはじめ介護予防、閉じこもり予防等の事業内容を盛り込み、関係機関、組織と連携して、参加者の交流をはかることができる。
- ・地区で実施している事業への参加者数が増えている。

### 健康相談... 7団体

- ・市町村の健康イベント、健康サロンのグループ等で骨密度や血管年齢の測定を実施（国保連合会の健康機材を活用）し、個別保健指導を実施している。自身の健康を数値で見ることにより参加者の関心や意識が高まり、身近な転倒予防や生活習慣病予防の意識づけを図り地域住民の健康寿命の延伸に繋げている。
- ・住民と直接対話できるため、参加者からは「相談して安心した」という声や、派遣した会員からも「住民の健康づくりに役立てたことに喜びを感じる」等の感想がある。
- ・入浴施設（自治体運営）で実施している健康相談では、「気軽に立ち寄れる」、「日ごろ気になっていたことが聞けて良かった」などの声をいただいているため、今後も事業継続していきたいと考えている。

## 10.手応えのあった活動

### 健康劇、紙芝居... 7団体

- ・高齢者サロン等で「認知症予防、転倒予防」など、参加者の反応が良く、笑いもありわかりやすいと好評。主催者からも「毎年来てほしい」など、どこにおいても次の依頼が来るなどの手ごたえがある。
- ・地域に合わせ方言を交えたシナリオを工夫するなど、住民に身近な健康教育になっている。
- ・中高年の健康教育や、地域住民の健康意識の普及啓発に有効である。
- ・演者の名演技で笑いが絶えない中でも問題点が具体的で、体験談の発表や話し合いを深めることができた。

### その他（主なもの）

#### 後進育成

若手保健師は対人支援技術を学ぶとともに、家庭訪問により、「地域住民を捉える視点が変わった」、「地域に出向くことの重要性等を感じた」等々成長が感じられる感想が聞かれている。また市町村の他の保健師からも相談があり、市町村保健活動全体に対する支援に波及している。

#### 生活習慣病重症化予防事業

保険者の意見・感想としては、①電話をかけることで動機付けになり相談事業に繋げてもらうことができた、②受診勧奨を丁寧にしていただき対象者との信頼関係を築くことで受診に繋がることできた、結果説明会では、参加者の健診結果に応じた生活習慣病の助言・指導をいただいた、など意見・感想をいただいている。

#### がん教育

「乳がん予防啓発支援事業」では、会員が作成した教材や乳房触診モデルでしこりに触れることで、乳がんについて理解している様子が見られ、参加者は限られているが若年層に対しての乳がん予防について効果的な取り組みになっていると感じている。

## 11. 国保連合会にとっての在宅保健師等会の活動について

### 専門職としてのマンパワー、経験を生かした支援... 34団体

- ・国保連合会単独では保険者への人的支援が難しいところであるが、在宅保健師等会により専門的な知識を有した人材による人的支援が可能となる。
- ・国保連合会が広域的に事業を行う際に、連合会の保健師だけでは対応しきれない部分をサポートいただけることがよいと考えている。
- ・保健師としてのこれまでの経験と実績を活かして、保険者の保健事業をマンパワーと技術面で支援できる点。

### 現職保健師のスキルアップ... 4団体

- ・事業実施等により現役市町村専門職のコミュニケーション能力のスキルアップに貢献。
- ・国保連合会が行う保険者への保健事業に対して、専門的な技術又は知識を有する者の派遣は豊富な知識や経験を地域の保健・福祉活動に寄与するだけでなく保険者保健師への助言なども含め国保連としても勉強になる部分が多くある。

### 事業の効果を上げている... 3団体

- ・特定健診・特定保健指導の受診勧奨による受診率向上や健康相談による地域住民の健康づくりを支援いただいている。
- ・連合会保健事業に協力し、健康度測定と保健指導等の実施により事業参加率確保等に貢献。

### その他

- ・関係機関・多職種との連携ができる
- ・地域の実情を理解している
- ・教材の作成
- ・保険者の要望・現状が把握できる
- ・多職種の専門職集団としての支援
- など

## 在宅保健師等会の目的

行政、医療機関、医療保険者等を退職した保健師  
(看護師、助産師、栄養士等)の知識や経験を活かし、  
市町村の保健事業や地域の保健活動に寄与するとともに、  
会員相互の親睦を図ることを目的としている。